

岐阜県議会議員 平野 裕也 タイムズ VOL. 10

一般質問

- 川島大橋の復旧
- 岐阜県発宇宙プロジェクト
- 中学部活動の地域移行
- ウッドショック



YouTubeでもっと詳しく解説します!



一般質問の内容についてさらにわかりやすく、私の思いも解説しています!



質問 川島大橋の復旧スケジュールと再発防止策は？住民説明会を開催すべき。

回答 全ての復旧工事が終わるまでは「相当な年月を要する」ことが想定。地域の方々に「7月中に説明の機会を設ける」再発防止策として橋脚周りの川底の状況を超音波等で詳細に調査するよう、「橋梁点検マニュアル」を改訂する。

趣旨 5月に通行止めになった川島大橋ですが、6月に河川の流れを変える緊急対策工事を行いました。現状分かったことは、築60年を超え、傾きが橋全体に波及しており、難工事となることです。既に県警が信号調整を行っており、渋滞緩和を講じていますが、長期化となると横断歩道の設置等も検討する必要があります。一刻も早く復旧させる為、国・県・市で連携していきます。



川島大橋南側より撮影

平野裕也の質問①
川島大橋復旧は「相当な年月を要する」



宇宙博「宇宙エリア」にて

質問 岐阜県として宇宙プロジェクトを創出すべき。またテクノプラザをその拠点にしては？

回答 「岐阜県航空宇宙産業支援関係者連携会議」を開催し、宇宙産業に関する先進企業と意見交換を行う。その後、仮称「宇宙プロジェクト研究会」を立ち上げる方向で検討を進めていく。テクノプラザについても、岐阜ならではの宇宙プロジェクトの検討との連動を視野に、全体のコンセプトの見直しに向けて、具体的な検討を進める。

趣旨 コロナ禍で苦境の航空宇宙産業ですが、宇宙ビジネスは世界的に産業規模が拡大しています。岐阜県として新業開発や人類未到達の地の開発、将来の子供の夢を応援する「宇宙プロジェクト」の検討が始まります。その拠点を県有施設のVRテクノプラザに持って来たいと思います。今後の動向に期待してください!

平野裕也の質問②
岐阜県発！宇宙プロジェクト始動!



平野裕也のプロフィール

1984(S59)年12月生まれ
緑苑小▷緑陽中▷岐阜北高
▷名古屋大学法学部卒
▷三菱商事(東京・米国)11年勤務
▷2019年岐阜県議会議員(1期目)

2019年春、10才から夢みた政治家となり、明るい未来を創るためのスタートラインに立つ。サラリーマン家庭の男3人兄弟、次男。中学・高校時代はバスケットに熱中。大学時代は各務原市議会議員の下で議員インターンシップに参加。現在は妻、子供2人と鶴沼山崎町在住。

発行日
2021年 真夏号

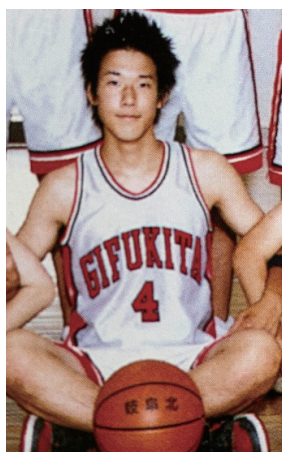
平野裕也 最近の活動はで検索!



各務原から創ろう。岐阜県の未来を。

ホームページ

平野裕也の質問③
中学校部活動の地域移行のスケジュールを明示!(土日祝日のみ)



平野裕也は中学校とバスケットボール部でした

質問 令和5年度から全国展開される部活動の地域移行について県としてスケジュール感やイメージを共有すべき。

回答 土日祝日の部活動の地域移行は、各市町村が「2023年までに方針」を定め、今後は総合型地域スポーツクラブ、市町村スポーツ協会、保護者及び地域住民が主体となる団体などが運営管理していくことを想定。

趣旨 既に羽島市の竹鼻中学校と「はしまなごみスポーツクラブ」や、岐阜総合学園のホッケー部と朝日大学の「ぎふ瑞穂スポーツガーデン」が拠点校として地域移行を進めています。生徒や保護者、教員の働き方への影響が大きいにも関わらず、具体的なイメージが全体で共有されてきませんでした。この質問を機に、具体的な動きがスタートして欲しいと思います。何よりも子供達の活動の場を狭めないような部活動改革にしていきたいと思います。

平野祐也の質問④

ウッドショックが日本の林業を変える?! 輸入依存の構造改革へ!

質問 ウッドショックを受けて県の対応について

回答 県として以下対応を進めていく。
 ①原木の供給量を増やすため、間伐から皆伐にシフト。②林業経営に適した「木材生産林」での境界の明確化を進める。
 ③林業のDX化に積極的に取り組む。県産材は輸入材と比べ強度等の性能表示が進んでおらず、構造計算が必要な建築物には採用されにくい。JAS制度に基づいた性能表示材の増産を進め、製材工場に対して強度測定機の導入等を支援し、供給体制の強化に努める。

趣旨 今年に入ってから「ウッドショック」と呼ばれる海外からの輸入木材価格の高騰の影響から、新規住宅着工に影響が出てきています。日本は木材の内、6割を輸入に頼っており、政治行政も国産材の普及に力を入れてきた中で、またとないチャンスが来ていますが、従事者も少なく、山林境界が明確でない為、輸入材の代替が出来ません。スギやヒノキは柔らかく、梁桁に使えないという課題もあります。多くの税金を投入して林業を支援してきたのに、こうした機会に対応出来ないのであれば意味がありません。輸入材の良さを認めて、

国産材の弱点をしっかりと認識することが大切です。岐阜県として国産材普及プロジェクトを意味のあるものにしていきたいと思えます。



県産材の伐採現場視察

平野祐也の岐阜未来タイムズ

VOL.10

カーボンニュートラルは実現できるか?! 理想と現実の狭間で

菅政権は2020年10月に「2050年カーボンニュートラル宣言」を発表しました。2050年までに脱炭素社会を実現し、温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標としています。過去から環境問題は政治や経済の綱引きや思惑の中で翻弄されてきました。例えば「排出権」。



経済産業省資源エネルギー庁より引用 <https://www.enecho.meti.go.jp>

今回は一味違う?!

そうした中で今回は「味違う」という期待があります。その理由は民間企業の取り組みが加速するタイミングに合っているからです。世界を代表するトヨタ自動車が「製造部門におけるカーボンニュートラルの達成を2035年に前倒しをする」と6月に発表しました。CO2排出と切り離せない自動車産業では、2025年以降世界各国でガソリン車の新車販売禁止を打ち出し

ています。EUでは2021年から燃費の悪い自動車販売メーカーに対して高額な罰金を課します。日本最大の輸出産業である自動車業界は日本政府の動きに関わらず、CO2排出削減への対応が迫られます。

既に県内の自動車関連企業からも「トヨタがサプライヤー向けにCO2削減の通知をした」と業界への浸透度の高さを感ずります。



経済産業省資源エネルギー庁より引用 <https://www.enecho.meti.go.jp>

正直者が損を見てはいけぬ。

残念ながら、そもそも「高額な罰金」や「炭素税」等、実質的な経済的不利益が無いと民間企業が動かないのは仕方がないことです。どれだけ環境に良い製品を作っても、その分のコスト転嫁が理解されないと企業は破綻してしまふからです。そうした中でも「SDGs」という流れが有ります。こちらにも耳にした方は多いと思いますが、例えば、「今まで百円で買っていた商品が、SDGsに対応した結果千円になったら皆さんはその商品を買いますか?」ちなみに未対応商品は百円のままです。「極端な例ですが、企業は理想と現実の狭間で揺れ動きまわります。政治行政としても、こうした「正直者を優先」するような制度や、「目先の損得」よりも「持続可能な社会を創る」という本気の覚悟が求められています。

政治に無関心でも政治と無関係ではいられない。



「こんな岐阜県がいいな」を聞かせてください。



携帯 : 080-9705-1004
 TEL/FAX : 058-372-2188
 住所 : 〒509-0136 松が丘2-177
 Mail : info@yuyahirano.com

LINE公式アカウント



経済産業省資源エネルギー庁より引用 <https://www.enecho.meti.go.jp>



YouTube

もっと詳しく岐阜を語らせてください!

平野祐也の未来タイムズ

ぜひチャンネル登録も宜しくお願いします!

